

●主題名 世界とのつながりについて考えよう

●教材名 どこからきたのかな？

●人権学習の視点 個別的な視点「外国人の人権問題」

●主題・教材について

人類は時として自国の利益を追求するあまり、他国と戦争を引き起こすことがある。しかしながら、自分たちが安全で豊かに暮らすためには外国との協力関係は欠かせない。本教材では、身近にあるものから日常生活と外国の接点に気づき、国同士がお互いの良さを認め合いながら協力しあうことで、平和で豊かに暮らすことができるという国際感覚の礎を築きたい。

●ねらい

自分たちの日常生活において外国との協力関係で得られているものがたくさんあることに気づき、国同士がお互いの良さを認め合い、協力し合うことでより豊かな生活が得られることを理解する。

●関連する教材

人権学習資料集〈小学校編Ⅰ〉せかいのがっこう（1年生用）

人権学習資料集〈小学校編Ⅱ〉いろいろな国（3年生用）

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	世界にはたくさんの国があることを知ろう				
	○国旗クイズ ○本時の学習課題を知らせる。	一斉 一斉	○国旗をみて国名と場所を考える。 ○世界地図のだいたいどのあたりかを知る。 ○本時の学習課題を知る。	○十分なヒントを与える。 ○国旗にはその国の歴史や考えなど、意味があることも伝える。	ワークシート 世界白地図 国旗
展開	日常食べたり使ったりしているものはどの国からきたのだろうか？				
	○身近にあるものから外国との接点に気付かせる。	グループ	○マッチングゲーム ・自分たちが日常食べているものがどこからきたのか考える。	○グループで意見を出し合う	世界地図 絵カード
		一斉	○外国からきた言葉（外来語）について考える。	○何気なく使っている言葉の中にも、外国から来たものがあることに気付かせる。	ワークシート
グループ		○自分の持ち物の生産国を調べ、グループ内で交流する。	○指導者があらかじめ準備した実物を見せながら生産国の調べ方を説明し、児童の周りにあるものについて調べさせる。 ○英語表記のものについては指導者が説明する。		

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開	○日本で作られたものが他国にも広がっていることを理解させる。	グループ	○ワークシートの5について、日本が発祥のものをグループで考える。	○同じように、日本が発祥のものが世界でも用いられていることを理解させる。	ワークシート
	外国と交流するとどんないいことがあるだろうか？				
	○国際協力の利点について考えさせる。	グループ	○外国と仲良くすればどのような利点があるか考える。また、どのようにすれば仲良くできるか考える。	○歴史のなかで外国と協力をしながら生活してきたことに注目させる。 ○物質的なことが中心になると予想されるが、指導者より平和・安全など、様々な角度からの利点があることを伝える。	
ま と め	○本日のまとめをする。	個別	○今日の感想を書く。 ○意見や感想を交流する。	○日本と外国のつながりを意識した感想を書かせる。 ○お互いを認め合い協力し合うことが人を豊かにすることにつなげてまとめる。	ワークシート

●評価

外国との関係においてお互いを認め、協力することで生活が豊かになると考えることができたか。

<ワークシートの解答>

- 1 ① 中国（中華人民共和国） ② 韓国（大韓民国） ③ ポルトガル（ポルトガル共和国）
④ オランダ（オランダ王国） ⑤ イタリア（イタリア共和国）
⑥ アメリカ（アメリカ合衆国） ⑦ フランス（フランス共和国）

3 かっぱ ぶらんこ らんどせる

- 5 ①（カラオケ） ③（インスタントラーメン） ⑤（シャープペンシル） ⑧（乾電池）
⑨（缶コーヒー） ⑬（CD） ⑮（温水洗浄便座）

※ ⑧ 原型はイギリスで開発され、現在の形のものが日本で開発された。

⑬ オランダと日本のメーカーとの共同開発

⑮ 原型はアメリカで作られた医療用の製品で、家庭用のものが日本で開発された。